



- 各地から伊美港までの距離
- 宇佐駅から31km
 - 大分空港から33km
 - 別府市から75km
 - 大分市から85km
 - 宇佐インターから49km
 - 空港道路出口から36km



- 姫島村営フェリー時刻表
姫島⇄伊美（所要時間約20分）

姫島発	便	伊美発
5:50	1	6:20
6:55	2	7:30
8:00	3	8:40
9:15	4	9:50
10:25	5	11:00
11:35	6	12:10
13:00	7	13:35
14:10	8	14:45
15:20	9	15:55
16:30	10	17:25
18:00	11	18:45
19:15	12	19:45

※12月1日～3月31日12便
は運休します。

火山が生み出した神秘の島

おおいた姫島 ジオパーク

Oita Himeshima Geopark



大分県姫島村 おおいた姫島ジオパーク推進協議会

〒872-1501 大分県東国東郡姫島村1671-1
TEL 0978-87-2266 FAX 0978-87-2288

<http://www.himeshima.jp/geopark/>

姫島

姫島は、大分県国東半島の北5kmの沖合に位置する人口約2,000人、東西6.6km、南北2.6km、周囲17kmの一島一村の離島です。



時と自然の希跡ジオパーク「天一根」



展示室

●古事記によると、伊邪那岐命（いざなぎのみこと）と伊邪那美命（いざなみのみこと）の2神が「国生み」の神話の中で12番目に生んだのが「女島」です。この「女島」が姫島で、またの名を「天一根」といいます。

●日本書紀によると、垂仁天皇の御代、意富加羅国（今の韓国南部）の王子、都怒我阿羅斯等が白い石から生まれたお姫様と結婚しようとしたが、お姫様はそれを逃れ、海を渡って島に上陸し、比売語曾の神となりました。姫島の名前の由来はここから始まります。



ジオパークとは

地質や地形などの地球活動の記録（地質遺産）を保全し、その土地のなりたちやそれらと生態系、人の暮らしの関わりを学び楽しむところで、地質遺産を教育研究活動や観光、ツーリズムなどに有効に活用し、地域を活性化していく取り組みです。



火山が生み出した神秘の島

おおいた姫島ジオパーク

おおいた姫島ジオパークは、姫島を中心とした海域を含む東西14km、南北6kmの区域で、2013年に「火山が生み出した神秘の島」をテーマとして、日本ジオパークに認定されました。

姫島は、約30万年前からの火山活動が生み出した大地が、悠久の時を経て瀬戸内海に浮かぶ4つの小島となり、それらが砂州でつながって一つになった島です。随所にみられる火山活動の痕跡や、砂州の地形を利用して発達してきた産業、生態系など、コンパクトな島内にたくさんあります。

また、神秘さを色濃く残す姫島の歴史や文化、島の人々の暮らしもまた、おおいた姫島ジオパークの魅力です。

目次 CONTENTS

未来に残したい地球からの贈り物

火山 3

岩石、化石、鉱物 5

湧水 7

姫島の大地を作り上げた地球の活動

地層 8

海食崖、海食洞 9

トンボロ地形 10

大地の恵みを利用してきた人の暮らし

歴史 11

離島で育まれた独特の生態系

生態系 13

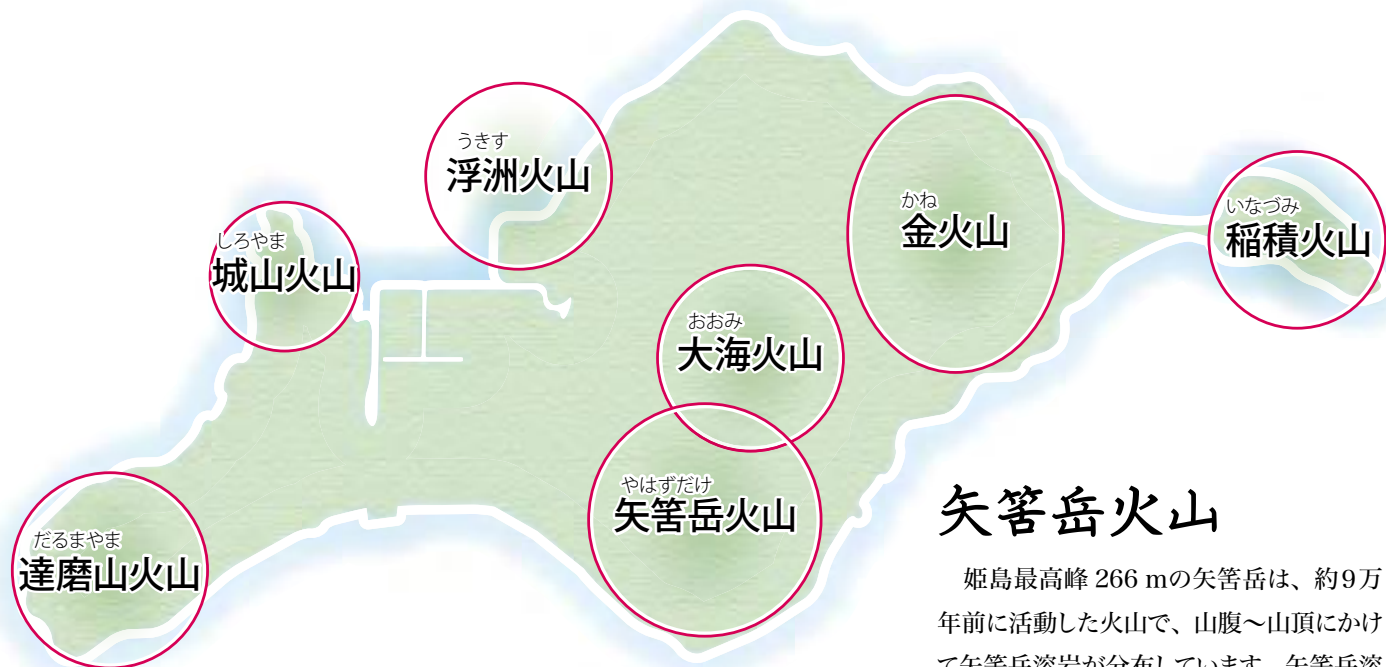
ご当地グルメ、おみやげ 15

ジオガイドマップ 17

火山

Volcanoes

姫島には、約 30 万年前以降に活動した 7 つの火山がありますが、それぞれに異なる形状をもち、粘り気の強いマグマが固まってできた溶岩ドームや、浅所に上昇してきたマグマが水と反応し爆発して作られた地形など、様々な火山地形がみられます。島内各所にみられる火口跡の丸く窪んだ凹みは、現在は畑や水田、車えびの養殖池などに活用されています。



達磨山火山

約 12 万年前に活動した火山です。ス鼻では、ゴツゴツした岩肌の達磨山溶岩がみられ、ヨロイ岩と呼ばれています。達磨山溶岩には角閃石や硬石膏などの鉱物が含まれています。

城山火山

島の北西部に位置する城山火山は、気泡を多く含む乳白色の溶岩が特徴です。観音崎では城山溶岩の一部である黒曜石の断崖が美しい景観を作っています。城山溶岩は、最近までパーライトの原料として採石されていました。

浮洲火山

直径 700 m ほどの円弧状の浅瀬からなる姫島最大の火口跡をもつ火山で、火山体の大部分は海面下にあります。姫島七不思議のひとつ「浮洲」として知られる岩礁は浮洲溶岩からなり、干潮時には陸と繋がります。

矢筈岳火山

姫島最高峰 266 m の矢筈岳は、約 9 万年前に活動した火山で、山腹～山頂にかけて矢筈岳溶岩が分布しています。矢筈岳溶岩は、角閃石を含むデイサイトです。

金火山

はっきりした縞模様が特徴の金溶岩は、角閃石を含むデイサイトで、溶岩ドームまたは貫入岩が 5 つ分布しています。東浦漁港（金）の海岸沿いには、金火山の活動に関連した火砕岩が分布しています。

稲積火山

稲積火山は、拍子水の付近から見ると、中央部の火口跡が窪んだ台形をしています。稲積溶岩からなる断崖の上には姫島灯台が建てられています。

大海火山

大海火山は、矢筈岳東麓から二股池にかけて噴出物が分布しているのみで、火山体や火山地形が残存していないため、姫島火山群では最も初期に活動した火山であると考えられています。



矢筈岳（複合溶岩ドーム）

姫島の中央に位置する島のシンボル矢筈岳は、複数の溶岩ドームが重なり、富士山に似た美しい形から、姫島富士と呼ばれています。

火口跡

城山火山の観音崎火口跡は、黒曜石の断崖、斗尺岩や赤馬と呼ばれる岩に囲まれた美しい景観を作っています。達磨山火口跡では、丸く窪んだ凹地形を活かして姫島車えびの養殖が行われています。

また、稲積火口跡や金火口跡の平坦な地形は、畑地や一部が水田として利用されています。



稲積火口跡



観音崎火口跡



達磨山火口跡

岩石、化石、鉱物

Rocks, Fossils and Minerals

姫島には、黒曜石をはじめ、様々な岩石等があります。姫島の火山岩には、流紋岩と呼ばれる、縞模様が特徴の岩石が多くみられ、島内の石垣などにも多く使われています。また、島の各所で発見されているゾウの化石や藍鉄鉱などの鉱物、湧水などは、姫島の地質を語る上で欠かせないものです。

国指定天然記念物

「姫島の黒曜石産地」^{かん のん ざき} 観音崎

島内随一の景勝地である観音崎は、乳灰色～乳白色の黒曜石の断崖が続いています。観音崎の黒曜石は、火山活動の過程を記録した岩石で、地質学的に重要であるとともに、主に縄文時代には石器に加工され、瀬戸内海を中心に広い範囲で流通しており、考古学的にも大変重要であることから、平成 19 年に「姫島の黒曜石産地」として観音崎一帯が国の天然記念物に指定されました。



火山岩の利用

姫島の火山岩は、人々の暮らしに欠かせない石材として、石垣や波止の築造に使われてきました。北浦にある「沖の波止」は、天保 12 年（1841 年）に築造された姫島に現存する最も古い波止場で、主に城山溶岩が使用されています。また、金溶岩は、平たい石材として重宝され、姫島が属していた杵築藩の武家屋敷の石畳にも使用されています。



沖の波止

ゾウの化石

島の各所からゾウの化石が産出しています。



ス鼻沖の海底で発見された
ナウマンゾウの化石



島の南東部（タルミ沖）で発見された
トロゴンテリゾウ（シガゾウ）の臼歯化石

^{かね} 金溶岩

拍子水の周辺の崖では、金火山の一部である金溶岩を間近で観察することができます。



県指定天然記念物

^{らん てっ こう} 藍鉄鉱

ス鼻沖の海底から、鉄のリン酸塩鉱物である藍鉄鉱が発見され、「姫島の藍鉄鉱」として昭和 34 年に県の天然記念物に指定されています。球形のものや動物の骨の形など、様々な形状のものがみつかっています。



ス鼻沖の海底で発見された藍鉄鉱

湧水

Spring water

ひょうしみず

拍子水

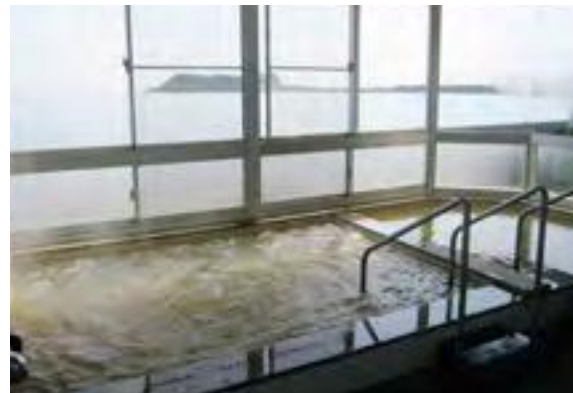
島の北東部（金地区）では、「拍子水」と呼ばれる鉱泉が間断なく湧き出しています。泉温 24.9℃、二酸化炭素を多く含む炭酸水素塩冷鉱泉で、飲用することができます。



姫島七不思議のひとつ「拍子水」

拍子水温泉 (姫島村健康管理センター)

拍子水温泉は、拍子水を活用したもので、村内外の多くの人に利用されており、慢性消化器病、慢性皮膚病、神経痛、疲労回復等に効果があります。この拍子水温泉では、源泉に熱湯を加えた温泉（41℃前後）と、源泉（24.9℃）の二種類を利用する事ができます。



- 泉 質 / 炭酸水素塩冷鉱泉
- 泉 温 / 源泉(24.9℃)、温泉(41℃前後)
- 営業時間 / 火～金曜日
正午～午後7時
土・日・祝日
午前10時～午後7時
- 定 休 日 / 毎週月曜日(祝日を除く)
- T E L / 0978-87-2840

地層

Geological formations

姫島の中央部には、瀬戸内海ができるよりも前、姫島の周辺がまだ陸地であったころに、河川や湖にたまった地層があり、国東半島から運ばれてきた石や多様な堆積構造が観察されるほか、木・貝類・哺乳類の化石などがみつかっています。これらの地層は、後に生じた火山活動に伴って隆起し、断層や褶曲などの変形構造が発達しています。

県指定天然記念物

おおみ

大海の コンボリュートラミナ

屋根瓦のような模様が連なった「コンボリュートラミナ」は、地震等の揺れが加わったことにより地層が流動化し、層が乱されて形成される構造です。この露頭は昭和34年に「姫島の地層褶曲」として県の天然記念物に指定されています。



大海の褶曲構造

コンボリュートラミナの東方約100mの地点では、大きく地層が曲げられた褶曲構造を見ることができます。もとは水平であった地層が、火山の活動で大きな力を受けて変形したものです。

まる いし ばな

丸石鼻層の露頭

丸石鼻海岸でみられる約200万年前の地層は、大きく傾斜しており、褶曲や断層など、多様な地質構造を観察することができます。



かいしょくがい かいしょくどう 海食崖、海食洞

Sea cliff and Sea cave

姫島の周囲には、海水による浸食作用で形成された様々な地形がみられます。海食崖は、崖の下部が少しずつ浸食され、不安定になった上部が崩落して後退し、新しい崖の面が露出して形成されます。また、海食洞は、海食崖の中でも弱い岩質の部分が強く浸食され、洞穴になったものです。



たかす 鷹の巣

ひめしまブルーライン沿いの矢筈岳南東側にみられる海食崖で、崖の表面が風化してできた「くぼみ」を利用して、ハヤブサが営巣することから、鷹の巣（たかのす）と呼ばれています。



観音崎の海食崖と海食洞

観音崎の北側には、高さ 40 m、幅 120 m におよぶ黒曜石からなる海食崖と複数の海食洞があります。



姫島七不思議のひとつ「阿弥陀牡蠣」の海食洞

はしら だけ 姫島灯台下の海食洞と柱岳

姫島灯台下には、稲積火山の一部である柱ヶ岳溶岩からなる断崖が露出し、海食洞が複数みられます。西側の海食洞が一番大きく、満潮時には小舟で洞内に入ることができます。洞内には、姫島七不思議のひとつ阿弥陀牡蠣があります。崖の東端にみられる離れ岩の「柱岳」は、もともとつながっていたものと考えられます。

トンボロ地形

Tombola

姫島は、4つの小島が砂州でつながって1つの島になったもので、島の各所に、トンボロと呼ばれる砂州地形の名残がみられます。国東半島側から姫島を見ると、4つの小島のつながった地形がわかります。



中央低地 トンボロ地形



国東半島から見た姫島

歴史、文化

History and Culture

よう じゃく

用作遺跡

縄文時代晩期の遺跡で、矢筈岳の北西の平坦な台地に位置しており、1988年に発掘調査が行われました。この遺跡では、姫島の黒曜石を使った石器生産が行われており、矢じり等が出土しています。



村指定有形文化財

ひめ しましょう や こ しょう け

姫島庄屋古庄家

古庄家は、江戸時代を通して姫島の庄屋を務めた家で、塩田の造成、サツマイモ栽培の導入、沖の波止の築造など、姫島の発展に多大な功績を残しています。

古庄家の屋敷は、第11代古庄逸翁が天保13年に完成したもので、敷地は約550坪、一部2階建ての寄棟造りで延建坪は129坪あります。庭園、お成りの間等、格式を伝える貴重な建物です。



馬関戦争と姫島

関門海峡を通過する外国船を砲撃した長州に対する報復のため、1864年に英、米、仏、蘭の連合艦隊17隻が姫島の西浦沖に集結した後、下関に向かい、砲台を攻撃しました。この事件に関連して伊藤博文、井上馨、勝海舟が姫島に来島しています。



西浦沖に集結する連合艦隊（「宇和島市立伊達博物館」蔵）

旧塩田の煙突と旧専売公社の倉庫

姫島の中央低地では、砂州からなる遠浅の地形を利用して、慶長年間から塩田が営まれていました。島の各所に塩田関連の遺構が残っています。また、塩田跡地を利用して、昭和38年からはじめられた車えびの養殖は、沿岸漁業と並ぶ村の基幹産業となっています。



旧専売公社の倉庫

姫島車えび養殖(株)の敷地に立つ旧塩田の煙突



車えび養殖池



姫島灯台

明治37年、島の東端57mの断崖の上に建てられた花崗岩造の堅固なもので、昭和38年電化され、昭和45年に無人となりました。ここからは瀬戸内海を一望でき、天気の良い日には四国や中国地方の山並みを見ることができます。



♥ ハートの切り株

灯台公園は、桜の名所でもあり、お姫様の神秘が生み出したといわれているオオシマザクラの「ハートの切り株」があります。

国選択無形民俗文化財

姫島の盆踊

姫島の盆踊は、鎌倉時代の念仏踊りから派生したものといわれており、伝統踊りと創作踊りがあります。毎年8月14日から16日までの3日間開催され、14・15の両日は、特に賑わいます。平成24年に、国選択無形民俗文化財に指定されました。



キツネ踊り



銭太鼓



猿丸太夫



アヤ踊り

姫島七不思議

姫島には、お姫様にまつわるものなど数多くの言い伝えがあり、姫島七不思議として語り継がれています。

千人堂（せんにんどう）

観音崎に馬頭観世音を祀った小さなお堂があります。大晦日の夜、債鬼に追われた善人を千人かくまうことができるといういわれから、千人堂といわれています。

浮洲（うきす）

沖合の小さな洲に漁業の神様、高部様を祀っており、高部様と鳥居は高潮や大しけの時でも決して海水につかることがないといういわれから、浮洲といわれています。

逆柳（さかやなぎ）

お姫様が、使った柳の楊枝を土中に逆さまに挿したところ、芽を出したといういわれから、逆柳といわれています。

かねつけ石（別名おはぐろ石）

別名を「おはぐろ石」とも言い、お姫様が、おはぐろをつける時、石の上に猪口と筆をおいたところ、その跡ができたといういわれから、かねつけ石といわれています。

拍子水（ひょうしずみ）

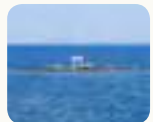
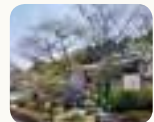
お姫様が、おはぐろをつけた後、口をゆすぶとしたが水がなく、手拍子を打って祈ったところ、水が湧出したといういわれから、拍子水といわれています。

浮田（うきた）

大昔、池に棲んでいた大蛇を誤って埋めてしまったため、大蛇の怒りで田が揺れるといういわれから、浮田といわれています。

阿弥陀牡蠣（あみだがき）

灯台の下の海食洞窟内に「牡蠣」が群棲し、海水につかることなく、食べると腹痛を起すといわれています。その牡蠣が阿弥陀三尊の形に似ているので、阿弥陀牡蠣といわれています。



生態系

Ecosystems

離島である姫島は、島外との交流がなく、大型の野生動物がいなかったことから、島の人の暮らしとの関わりの中で独特の生態系が育まれてきました。

アサギマダラ休息地

渡り蝶のアサギマダラは、5月頃、姫島に自生するスナビキソウの蜜を求めて、南の地から飛来し、姫島で休息したのち、涼しい北の地に向かって飛び立ちます。10月頃、その世代を交代した蝶が、北から南へと向かう途中で、姫島に生えているフジバカマの花の蜜を求めて、姫島で休息します。



フジバカマの花で休息するアサギマダラ

猛禽類生息地

姫島には、種の保存法の対象種となっているミサゴやハヤブサなどの猛禽類が生息しています。ミサゴは観音崎の「斗尺岩」で、ハヤブサは海食崖「鷹の巣」で営巣します。



観音崎斗尺岩で営巣するミサゴ(準絶滅危惧種)



鷹の巣で営巣するハヤブサ(絶滅危惧Ⅱ類)

村花 (野路菊)

野路菊は、兵庫県～西日本に分布するキク科の多年草で、日当たりのよい海岸の崖などに自生し、秋に白い花を咲かせます。昭和51年に村花に指定されました。



崖に自生する野路菊

村指定天然記念物

比売語曾社周辺の スダジイの自然林

比売語曾社周辺の崖地一帯に自然のままのスダジイが群生しています。



比売語曾社周辺のスダジイの自然林

村木 (黒松)

黒松は、本州・四国・九州の海岸に多い松で、ゴツゴツした黒っぽい樹皮が特徴です。姫島には黒松が多く繁茂し、昭和51年に村木に指定されました。昭和の終わりから平成にかけて、松くい虫の被害拡大を防ぐため、多くの黒松が伐採され、その数は大幅に減少しましたが、松くい虫の被害を免れた黒松は、現在も島内の各所に残っています。



大帯八幡社にある黒松の大木

矢筈岳の森

矢筈岳の樹木は、昔、人々が薪として使うために、次々と伐採されていましたが、明治期に、中條石太郎により、魚付林として守られるようになりました。その後、昭和の終わりごろまで、矢筈岳には黒松の森が広がっていましたが、松くい虫被害により黒松が減少した後、タブノキが成長をはじめ、現在では、鬱蒼としたタブノキの森となっています。



矢筈岳に広がるタブノキの森

ご当地グルメ



魚料理



鯛めん



姫島車えびのしゃぶしゃぶ



姫島車えびの塩焼き



茹でダコ



姫島車えびのフライ

おみやげ



姫島活車えび



姫島車えび凍眠凍結真空パック



姫島うに



姫島車えびフライ



姫島ひじき



姫島ひじき



幻の2日ひじき



姫島わかめ



姫島車えびしゅうまい



姫島あおさ



島のたこめしの素



島だこ冷やし唐揚げ



車えびかりんとう



干しだこ



さかな味噌



えび塩



拍子水石鹸



拍子水ローション

拍子水温泉の効能が生かされた、無添加で手作りの洗顔石鹸とローションです。

凡例

ジオサイト

七不思議



公衆トイレ

島内25箇所に公衆トイレが設置されています。また、多目的トイレは、姫島港船客待合所、姫島村役場、天一根、離島センターにもあります。



西村英一顕彰碑
(西村記念公園)



ス鼻



姫島海水浴場と矢筈岳



レンタサイクル



周游レンタカー



姫島を一周するジオクルーズ

■ 宿泊施設

[旅 館]	宿泊料金	宿泊人数	電話番号
① 安 西 旅 館	6,500 円～	12人	0978-87-2034
② だるま旅館	11,000 円～	20人	0978-87-2026
③ 八 千 代 館	11,000 円～	40人	0978-87-2010
④ ロッジ姫島	11,000 円～	30人	0978-87-2141

[ペンション]

⑤ 野 路 菊 11,500 円～ 12人 0978-87-2823

[民 宿]

⑥ 村 さ 来 6,000円~ 25人 0978-87-2612
※ 宿泊料金は、1泊2食付(税別)で要予約。

[キャンプ場]

⑦ 姫島海水浴場／キャンプ場 0978-87-2279
テント3人用1,500円
海の家 1人1,200～1,500円

■観光周遊レンタカー 電気自動車（1時間）

2人乗り 3.000 円～／4人乗り 4.000 円～／7人乗り 5.000 円～

⑧ 姫島エコツーリズム 080-6452-0263

■お食事処

■お食事処		営業時間	定休日	電話番号
⑨	か の や	11時30分～15時 17時～23時	水曜日	0978-87-2870
⑩	姫 乃 家	11時～14時30分 18時～22時	火曜日	0978-87-3956
⑪	も り え い	11時30分～17時 時間外は要予約	不定休	0978-87-3666
⑫	一休(お好み焼き)	17時～22時	不定休	0978-87-3571
⑬	夕 月(焼肉)	17時～22時	月曜日	0978-87-3432

■おみやげ

■おみやげ	営業時間	定休日	電話番号
⑭ 東みやげ店	8時30分～18時	不定休	0978-87-3436
⑮ ビ・ボーン	8時30分～18時	不定休	0978-87-2844
⑯ まるい商事	8時30分～18時	不定休	0978-87-3505
⑰ おおいた姫島	9時～17時	火曜日	0120-898-808

■レンタサイクル
(1時間200円)

■ レンタサイクル (1時間200円)		営業時間	定休日	電話番号
14	東みやげ店	8時30分～18時	不定休	0978-87-3436
15	ピ・ボーン	8時30分～18時	不定休	0978-87-2844
16	まるい商事	8時30分～18時	不定休	0978-87-3505

※ ①～⑱の数字は、ガイドマップでの所在地を表します。